

コロナ禍で献血する人が減少しています。あなたの行動で助かる命があります。献血にご協力をお願いします。
 医務課(☎504-2178、☎504-2258)



命を救うボランティア



献血に行ってみませんか

献血ルーム・献血バスでお待ちしています 県赤十字血液センター 事業推進部松本課長補佐

所要時間は、検査を含めて30～40分程度(400mL)。混雑を避けるため、予約をお願いしています。予約者は優先的に案内します。詳しくは血液センターホームページで。



血液は長期保存できない

献血は、病気やけがで輸血を必要とする人のために、自分の血液を自発的に、無償で提供することです。

血液は人工的に造ることができません。保存期限も短く、赤血球で21日、血小板はわずか4日です。1人が1年間に献血できる回数や量には上限があるため、年間を通じて多くの人が継続して提供する必要があります。

献血者数が減少しています

献血できるのは、16～69歳*の人です。近年、献血者数は減少傾向にあり、中でも、10～30代の献血者は、この10年で約31%減少しています。

少子高齢化で献血可能人口が減り続ける中、このままでは、将来必要な血

液量を確保できなくなる恐れがあります。

※65～69歳での献血は、60～64歳の間に献血経験がある人に限ります

ほんの少しの勇気と時間で

7月某日、「献血ルームもみじ」(中区)で献血をした崇徳高校3年生の大本立さん(17・上写真右)は「学校に献血バスが来たときに、友達と誘い合って献血したのが初めて。毎回緊張するけど、看護師さんは優しいし、やってみると怖くない。ほんの少しの勇気と時間で、誰かの命のためになると思うとうれしいです」と笑顔で話します。

献血は「かわいい」

この日は、同じ高校の生徒7人もルームを訪れました。「自分が病気やけ

■献血ルームピース

【受付時間】

平日/
 9:00～12:00、
 13:30～17:00。
 土・日曜日、祝・休日/9:00～17:00
 〇中區紙屋町二丁目3-20 ソシオスクエア紙屋町
 〇☎0800-2009-150(フリーアクセス)



■献血ルームもみじ

【受付時間】

平日/
 10:30～13:30、
 15:00～18:30。
 土・日曜日、祝・休日/10:30～18:30
 〇中區本通6-11 明治安田生命広島本通ビル
 〇☎0120-634-150(フリーダイヤル)



がをしたらと思うと、献血の大切さが分かる」「献血の呼び掛けをしている友達を見てかっこいいと思った。今度は僕の番」など、それぞれの思いを話してくれました。



市HP ページ番号 14629



この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。
 【SDGs…持続可能な開発目標】

